

「分科会のスタートは好調」

今年の四月よりこれまでの活動に加えてクラブの新機軸として分科会を新たにスタートいたしました。当初は、講座数が不十分な上でのスタートになるのではと心配いたしましたが、杞憂に終わりました。

毎月四講座以上の分科会が開催され、理事たちは会場確保に追われ、嬉しい悲鳴をもつて日々となりました。この七月一五日をもって前半が終了し、ひとまず小休止、夏休みと致しました。この間延べ一七講座を開催するに至り、毎回の分科会参加者も予想を超える大変盛況で、その内容も「室内楽おもしろ講座」「往年の女性ヴァイオリニストの名演奏を聴く」「Pメンテナンズ講座」「Audio Clinic」「元氣会」「ギター大好き講座」「PCデジタルオーディオ講座」「SPレコードを聴く会」「タンゴの魅力」など、多岐にわたり魅力ある分科会が開催されております。驚くべきことにこれらが全て「会員による自主講座」であることです。如何に我がクラブの方々が多岐にわたって、優れた方ばかりの集まりであるかということをお話しているのだと思います。

クラブも今年一八年を迎えておりますが、過去の地道な活動の積み重ねが、現在の成熟しつつあるクラブに成長することができているのだと思うと非常に感慨深いものを覚えます。

これも会員の皆様のご協力の賜物である事は間違いのないことです。皆さんがこのクラブを愛して頂いているからだと理事会としては感謝し絶えません。

加えて、近年のオーディオ業界の息吹を感じさせるために、「メーカーによる製品説明会」も三回開催、毎回好評で、業界の新しい方向性も感じる分科会となりました。

これからは、充実しつつある分科会群なので、広く会員以外の方にも参加して頂くことと告知活動を積極的に展開していく予定です。

理事会としては、今回の分科会スタートにあたり会員の皆様の積極的な後押しを得て、スタート時は勢いが大事と致して講座数を増やし会員の方々の選択肢を増やす努力をして参りました。この事が返って分科会参加の上で感わず事になったのでは反省する部分でもありません。

そこで、良い機会なので今分科会小休止の期間に「分科会に関するアンケート」を実施する事と致しました。前半の分科会に参加して頂いて色々と感じたことなど会員の方々が感じられたご意見、ご提案をお聞きしたいと既に実施しております。八月末にこの結果をまとめて、後半以降の分科会のあり方を検討し、より良い分科会活動が継続できるように鋭意努力していく所存です。

今後とも、会員皆様の積極的なご協力をお願い致します。

尚、分科会に於いて、会員の皆様からは会場費補填の名目で参加費を徴収させて頂いておりますが、毎回会場費を超える金額が得られております。この超えた部分の金額は蓄えてあり、来る二〇周年の記念事業に使用させて頂く予定であることを予めご報告申し上げます。

幹事長 山本一成

『オーディオと私』

一、少年期に出発点があった。

私が十二歳の頃十歳年上の兄からラジオを作ってみないかと言ってチャンスを得た頃から始まったのである。

それから現在まで、いろんな遍歴を経て今に至っているのです。

私にとってオーディオは生活の一部となっている。我孫子オーディオファンクラブとの出会いである。

十五年前、我孫子市民会館に立ち寄った時ポスターにより会員スタッフによる発表イベントを知ってその場で入会させて頂きました。

その時、進行係の安定感と癒やしを私に与えて下さった山本会員は現在もAAFCの重要なポストでご活躍中で、私にとってその存在感は大きなものがあります。

私のオーディオに対しての思いの「音」は、その人なりに気に入ったものをトコトン使い込むことで、自分自身を磨くことにより、潜在する音の魅力を引き出し認識することだと思えます。

二、私の愛用のオーディオ機器

…ラインアップは次の通りです…

カートリッジIIオルトフォンSPU
 アームIIオルトフォンステッピングアンプトラン
 スT100
 スターテーパーIIテックニクスSP100マークII
 CD/DVDプレーヤーIIパイオニアDVD610
 AV
 プリアンプII三栄無線管球式キットSPR2000
 メインアンプII三栄無線管球式キット845
 スピーカーIIタンノイヨーク+3LZ及びJBL
 ランサー101

三、会員である石井会員により開眼

石井会員と出会って間もない頃、私の自宅で音を聞いた後で現在の音は決して悪い音では無いが、もっと良い音にしたいと思いませんか？と言われ私はそれなりの音で鳴っているつもりであったが、石井会員の技術的な面と音に対する感性に一目置いたこともあり、その理論を特別に論じてもらった時から音に対する再スタートとなりました。

それは入り口から出口まで一貫しての細部に及ぶものでした。

理論に基づく作業段階での音のチェックの度に期待を抱かせる音に段々と仕上がって行きました。

約一年間掛かって約80パーセント仕上がった段階だと思われませんが、それでも現在では一言で言えば芸術的ともいえる聞く人に感動を与えるもので、聞き始めると時間を忘れさせてしまうほどです。

四、音楽に対する考え方

ソフトの数だけ思い出があります。

好きな音楽はどんな曲ですか？と良く質問されま

す。

そんな時は「無限にあります」と答えます。

それはそのときの精神状態がどんな状態であるかによって決まるように思います。

オーディオライフをより楽しむ為に行っていることをご披露いたしますと、①外出して外界からの刺激をもらう。②オーディオ仲間と情報交換を行う。③逆説的であるが、時には音楽から離れてハングリーな状態になるまで我慢する。そうするとその後で聞く音楽の美味なこと！「これはおすすすめです」

五、私の音楽の聴き方は次のようなものです。

◎音質の良いものを重点的に聞く。
 ◎音質と音楽性が両立したものを聞く。
 ◎音質は良くななくても音楽性の充実したものを重視する。

六、オーディオ機器のメンテナンス
 ワンポイント

オーディオ機械には多くの接点部分がある。ピンジャックなどは無水アルコール液で拭く。特に初段の入り口部分は重要です。

七、最近始めたこと

自分の所有しているソフトを片っ端から聞いて行く。

果たして何年かかるか？自分が音楽と共に過ごした時間には忘れ難い思い出もあるのだから、私を待っていてくれるソフトの為に頑張ってみよう。

最後になりましたが、AAFCが現在のよう進化したクラブになってきたのは、会長はじめとして会員の多くの方々の協力があったものと皆様方に対して感謝の気持ちでいっぱいです。

今田 潤



写真は管球845のメインアンプ



写真は愛用の装置の前で